

E023 伊豆市旭滝（静岡県GEO DATA(17) :
地学散歩(96)）

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-11-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 増島, 淳 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00026047

E023 伊豆市旭滝



国土地理院 1/2.5万 修善寺図幅

国道 136 号線（下田街道）を南下し，修善寺温泉入口を左折，トンネルを越え大平地区をしばらく行ったところにあるバス停「旭滝入口」を右折すると旭滝がある。滝は全長約 105m で 6 段に折落し縦に長いので全容を眺めるのは容易ではないが，東向きであるため朝日を浴びた様子が最も美しいとされて旭滝と名付けられた。狩野川対岸の日向付近から遠望するとミニチュアのようにさらに美しい。寛政 5 年（1793）に伊豆を旅した谷文晁は「公余探勝図巻・第一巻」に「大平瀑布」として描いている。この滝の下には明治初年

まで晋化宗「滝源寺」があり本曲に残っている「滝落」は旭滝の様子を尺八の曲にうつしたと伝えられている。この旭滝の土台をなす旭滝玄武岩は，修善寺温泉周辺に厚く堆積している第三紀中新世の修善寺白色凝灰岩層に貫入した玄武岩の岩体である。滝に沿って，凝灰岩層中に入り込んだ溶岩が冷えて固まった際に収縮して形成された柱状節理が六角形の断面として観察できる。近くの修善寺温泉にはジオパークの拠点「ジオリア」があり旭滝もジオサイトとして注目されトイレや駐車場も整備された。

（増島 淳）